

【ISTSW－中国標準通信 Vol.016】

「企業標準トップランナー制度の実施に関する意見」が公布

発行元: 株式会社 IST ソフトウェア

目次

(1) 中国標準最新動向

- 国家標準公告 2018 年第 10 号を公布
国家標準 160 件(強制国家標準 10 件)、国家標準外国語版 3 件を公布

(2) 2018 年 8 月実施標準

- 160 件
 - ・国家標準 81 件(強制性標準 2 件を含む)
 - ・業界標準 42 件(強制性標準 15 件を含む)
 - ・地方標準 37 件

(3) 標準化動向に関するトピックス

市場監督管理総局等八部門が企業標準トップランナー制度の実施に関する意見を公布

★~~~~~

(1) 中国標準最新動向

~~~~~★

#### ◆ 国家標準公告「2018」第 10 号

国家標準公告[2018] 10 号 国家市場監督管理総局と国家標準委、国家標準 160 件などを公布

以下を含む国家標準 160 件(強制 10 件)、国家標準外国語版 3 件。

| 標準番号と標準名                        | 実施日        | 備考               |
|---------------------------------|------------|------------------|
| GB 1353-2018 トウモロコシ             | 2019-02-01 | 代替:GB 1353-2009  |
| GB 1787-2018 航空レシプロ・エンジン燃料      | 2019-02-01 | 代替:GB 1787-2008  |
| GB 6537-2018 3号ジェット燃料           | 2019-02-01 | 代替:GB 6537-2006  |
| GB 10493-2018 鉄道駅内踏切信号設備の技術的条件  | 2019-02-01 | 代替:GB 10493-1989 |
| GB 10494-2018 鉄道区間踏切信号設備の技術的条件  | 2019-02-01 | 代替:GB 10494-1989 |
| GB 13895-2018 高荷重用車両用ギヤー油(GL-5) | 2019-02-01 | 代替:GB 13895-1992 |
| GB 15618-2018 土壤環境品質 農用地土壤汚染リスク | 2018-08-01 | 部分代替:            |

発行元:  
国家標準化管理委員会  
原文ソース:  
[2018 年第 10 号](#)  
発行日: 2018-07-16  
※発行日は実際に  
Web にて公開された日  
付は異なる場合あり  
ます

|                                                                                 |            |                                                              |  |
|---------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------------------------------------------------------|--|
| マネジメント標準(試行)                                                                    |            | GB 15618-1995                                                |  |
| GB 16154-2018 民間用スチーム暖房の通用技術条件                                                  | 2019-08-01 | 代替:GB 16154-2005                                             |  |
| GB 17691-2018 大型ディーゼル車における汚染物質排出制限値および測定法(中国第六段階)                               | 2019-07-01 | 代替:GB 17691-2005                                             |  |
| GB 36600-2018 土壤環境品質 建設用地土壤汚染リスクマネジメント標準(試行)                                    | 2018-08-01 |                                                              |  |
| GB/T 6113.102-2018<br>無線妨害とイミュニティ測定装置と測定法規範 第1-2部:無線妨害とイミュニティ測定装置 伝導妨害測定ための結合装置 | 2019-02-01 | 代替:GB/T 6113.102-2008<br>※採用国際規格 (IDT):IEC CISPR 16-1-2:2014 |  |
| GB/T 6113.202-2018<br>無線妨害とイミュニティ測定装置と測定法規範 第2-2部:無線妨害とイミュニティ測定法 妨害電力測定         | 2019-02-01 | 代替:GB/T 6113.202-2008<br>※採用国際規格 (IDT):IEC CISPR 16-2-2:2010 |  |
| GB/T 18655-2018 車両、船舶内燃機関 無線妨害特性搭載受信機の保護のための限度値と測定法                             | 2019-02-01 | 代替:<br>GB/T 18655-2010<br>※採用国際規格 (MOD):IEC CISPR 25:2016    |  |
| GB/T 20004.2-2018<br>団体標準化 第1部:良好行為の評価ガイドライン                                    | 2019-02-01 | 新規                                                           |  |
| GB/T 21363-2018 容積式冷媒圧縮機凝縮ユニット                                                  | 2019-02-01 | 代替:<br>GB/T 21363-2008                                       |  |
| GB/T 23567.2-2018<br>数値制御工作機械の信頼性評価 - 第2部:マシニングセンタ                              | 2019-02-01 | 新規                                                           |  |
| GB/T 23567.3-2018<br>数値制御工作機械の信頼性評価 - 第3部:数値制御旋盤とターニングセンタ                       | 2019-02-01 | 新規                                                           |  |
| GB/T 26949.9-2018 工業車両 安定性試験 第9部分: 6m以上長さのコンテナ運搬用カウンタバランスフォークリフト                | 2019-02-01 | 代替:<br>GB/T 26561-2011                                       |  |
| GB/T 26949.16-2018 工業車両 安定性試験 第16部分 歩行式車両                                       | 2019-02-01 | 新規                                                           |  |
| GB/T 36439-2018<br>非破壊検査 航空産業非破壊検査員の資格認定と認証                                     | 2019-02-01 | 新規<br>代替標準(推測):<br>MH/T 3001-2012(航空産業非破壊検査員資格認定と認証)         |  |

|                                                                       |            |                                          |  |
|-----------------------------------------------------------------------|------------|------------------------------------------|--|
| GB/T 36486-2018 NC 油圧プレス                                              | 2019-02-01 | 新規                                       |  |
| GB/T 36499-2018 GHS ラベル作成のための消費者製品のリスク評価に関するガイド                       | 2019-02-01 | 新規                                       |  |
| GB/T 36507-2018 工業車両 使用、操作及び安全を維持する規範                                 | 2019-02-01 | 新規                                       |  |
| GB/T 36516-2018 原動機付き車両浄化フィルター用鉄、クロム、アルミニウム繊維素                        | 2019-04-01 | 新規                                       |  |
| GB/T 36538-2018 再製造/再生静電複合機(多機能を含む)設備                                 | 2019-02-01 | 新規                                       |  |
| GB/T 36560-2018 電子電気製品における有害物質使用制限に関する適合性証明技術文書の規範<br>※中国版 RoHS 適合宣言書 | 2019-02-01 | 新規<br>※採用国際規格<br>(IDT):IEC<br>63000:2016 |  |

表 1 国家標準公告第 10 号リスト(一部抜粋)

★~~~~~

## (2) 2018 年 8 月(160 件)実施標準

~~~~~★

➤ 8 月(160 件)

・国家標準(81 件)

強制性標準 2 件

推奨性標準 79 件

・業界標準(42 件)

強制性標準 15 件

推奨性標準 27 件

内訳:

JJG(国家計量検定規程)=8 件 ※すべて強制性標準

JJF(国家計量技術規範)=7 件 ※すべて強制性標準

CJ(町の建設)=2 件

QB(軽工業)=1 件

QX(気象)=12 件

JG(建築)=12 件

・地方標準(37 件)

下表は 8 月に実施の強制国家標準一覧(2 件)、強制業界標準(15 件)、一部の推奨標準:

| 標準番号 | 標準名 | 備考 |
|---------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| GB 36600-2018 | 土壤環境品質 建設用地における土壤汚染リスクの管理制御標準(試行) | 代替:GB 15618-1995,部分代替:GB 15618-1995 |
| GB 15618-2018 | 土壤環境品質 農用地における土壤汚染リスクの管理制御標準(試行) | 部分代替:GB 15618-1995 |

| | | |
|-------------------|-------------------------------------|------------------------------|
| JJG 999-2018 | 計量式デジタル液体濃度計の検定規程 | 代替:JJG 999-2005 |
| JJG 948-2018 | 電動振動試験システム検証規程 | 代替:JJG 190-1997,JJG 948-1999 |
| JJG 722-2018 | 標準デジタル時計の検定規程 | 代替:JJG 722-1991 |
| JJG 588-2018 | 衝撃ピーク電圧計の検定規程 | 代替:JJG 588-1996 |
| JJG 488-2018 | 瞬時日差測定器の検定規程(機械翻訳) | 代替:JJG 488-2008 |
| JJG 291-2018 | 溶解酸素測定器の検定規程 | 代替:JJG 291-2008 |
| JJG 238-2018 | 時間間隔測定器の検定規程 | 代替:JJG 238-1995,JJG 953-2000 |
| JJG 1011-2018 | 角膜曲率計の検定規程 | 代替:JJG 1011-2006 |
| JJF 1703-2018 | 共振式波長計の校正規範 | 代替:JJG 348-1984 |
| JJF 1702-2018 | α 、 β 平面放射源の校正規範 | 代替:JJG 788-1992 |
| JJF 1259-2018 | 医療用シリンジポンプ及び輸液ポンプの校正規範 | 代替:JJF 1259-2010 |
| JJF 1234-2018 | 呼吸機の校正規範 | 代替:JJF 1234-2010 |
| JJF 1105-2018 | 触針式表面粗さのサーベイメーターの校正規範 | 代替:JJF 1105-2003 |
| JJF 1099-2018 | 表面粗さの比較サンプルの校正規範(機械翻訳) | 代替:JJF 1099-2003 |
| JJF 1074-2018 | アルコール密度-濃度測量用表の校正規範 | 代替:JJF 1074-2001 |
| GB/T 4377-2018 | 半導体集積回路 電圧レギュレーターの試験法 | 代替: GB/T 4377-1996 |
| GB/T 35006-2018 | 半導体集積回路 レベル変換器試験方法 | |
| GB/T 35007-2018 | 半導体集積回路 低電圧差分信号回路の試験方法 | |
| GB/T 35010.1-2018 | 半導体チップ製品 第1部分:操作、包装及び保存手引 | |
| GB/T 35010.2-2018 | 半導体チップ製品 第2部分:データ変換フォーマット | |
| GB/T 35010.3-2018 | 半導体チップ製品 第3部分:操作、包装及び保存のガイドライン | |
| GB/T 35010.4-2018 | 半導体チップ製品 第4部分:ユーザーと仕入先の要求 | |
| GB/T 35010.5-2018 | 半導体チップ製品 第5部分:電気シミュレーション要件 | |
| GB/T 35010.6-2018 | 半導体チップ製品 第6部分:熱シミュレーション要件 | |
| GB/T 35010.7-2018 | 半導体チップ製品 第7部分:データ交換用の XML 形式 | |
| GB/T 35010.8-2018 | 半導体チップ製品 第8部分:データ交換の EXPRESS フォーマット | |
| GB/T 34333-2017 | 耐火材料 誘導結合プラズマ原子発光分光(ICP-AES)分析法 | |
| GB/T 34186-2017 | 耐火材料 高温動的ヤング率試験方法(インパルス励起法) | |
| GB/T 16555-2017 | 炭素、炭化珪素、窒化物を含む耐火材料の化学分析法 | 代替: GB/T 16555-2008 |
| GB/T 7322-2017 | 耐火材料 耐火度試験法 | 代替:GB/T 7322-2007 |
| GB/T 7321-2017 | 定形耐火物見本の製造法 | 代替:GB/T 7321-2004 |
| GB/T 3007-2017 | 耐火材料 水分含有量の試験法 | 代替:GB/T 3007-2006 |
| GB/T 3003-2017 | 耐火ファイバーおよび製品 | 代替:GB/T 3003-2006 |
| GB/T 3002-2017 | 耐火材料 高温における抗折力の試験法 | 代替:GB/T 3002-2004 |
| GB/T 3001-2017 | 耐火材料 常温曲げ強度試験の方法 | 代替:GB/T 3001-2007 |
| GB/T 34175-2017 | 耐火材料 硫含量の測定 | |
| GB/T 6901-2017 | ケイ素耐火材の化学分析法 | |
| GB/T 34217-2017 | 耐火材料 高温ねじり強度試験方法 | |
| GB/T 34218-2017 | 耐火材料 高温圧縮強度試験方法 | |

| | | |
|-----------------|--------------------------|-------------------|
| GB/T 34219-2017 | 耐火材料 常温引張強度試験方法 | |
| GB/T 34220-2017 | 耐火材料 高温引張強度試験方法 | |
| GB/T 34378-2017 | オートバイタイヤ動釣合い試験法 | |
| GB/T 9768-2017 | タイヤ 使用とメンテナンス規定 | 代替:GB/T 9768-2008 |
| GB/T 2979-2017 | 農業タイヤの規格、寸法、気圧と負荷 | 代替:GB/T 2979-2008 |
| GB/T 7377-2017 | サイクルタイヤシリーズ | 代替:GB/T 7377-2008 |
| GB/T 1703-2017 | サイクルタイヤチューブ | 代替:GB/T 1703-2008 |
| JG/T 539-2017 | 建築用ステンレス鋼溶接パイプ | |
| JG/T 219-2017 | 住宅のキッチン家具と厨房機器のモジュールシリーズ | 代替:JG/T 219-2007 |

表2 標準リスト(2018年8月実施、一部抜粋)

★~~~~~

(3) 標準化動向に関するトピックス

市場監督管理総局等八部門が企業標準トップランナー制度の実施に関する意見を公布

~~~~~★

記事の原文: [http://www.sac.gov.cn/xw/bzhxw/201807/t20180703\\_342614.htm](http://www.sac.gov.cn/xw/bzhxw/201807/t20180703_342614.htm)

※「意見」の中国語原文は別添をご参照ください。

國務院の承認を得て、國家市場監督管理総局、国家発展と改革委員会、科学技術部、工業と情報化部、財政部、生態環境部、交通運輸部、中国人民銀行等の8部門が共同で「企業標準トップランナー制度の実施に関する意見」(国市監標準(2018)84号)を公布。

第19回共産党大会では、”産業構造の高度化、近代的なサービス業を発展させ、国際標準を目標に製品レベルアップを目指す”ことを掲げられている。また、「中国共産党中央と国務院、品質向上行動計画の実施に関する指導意見」(中發「2017」24号)では、企業標準トップランナー制度の実施を明確に指示したことを受け、以下の意見を提出する。

#### 一. 指導思想

標準化改革を深化すべく、革新を原動力とし、市場主導、企業製品とサービス標準の自己声明公開制度を前提に、”企業標準トップランナー”制度を実施する。企業標準が製品のレベルアップを牽引し、消費の高度化および我が国の産業がグローバル・バリューチェーンの上流へステップアップを推進する役割を發揮させる。

#### 二. 基本原則

##### (一) 需要志向を堅持

国家が掲げる産業転換の政策と消費高度化のニーズに合せて、企業が国際標準をベンチマークとし、製品のレベルアップを絶えずに行うように誘導し、一定数の”企業標準トップランナー”を育て上げる。

## (二) 公開と公平を堅持

企業に自己声明による製品が執行する標準の公開を誘導。企業標準情報を共有するための手段を確保し、情報公開により、企業間に於ける公平な競争を促し、消費者の知る権利、参加権利、監督権利を保証する。

## (三) 革新による発展を堅持

先端科学技術成果を標準に転化し、標準の優位性を保つことによって、技術の優位性をより強固にする。絶えず標準の先進性、有効性、実用性を向上させ、製品とサービスの競争力を強化。

## (四) 企業主体を堅持

企業主導で製品とサービス標準のレベルアップを続け、企業標準は企業が市場に対する固いコミットメントであり、品質に関する固い約束であることを自覚させる。革新に満ちた”企業家精神”と優れている上に更に磨きをかける”匠の精神”を發揮させ、より多く良質な”企業標準トップランナー”を作り出すことを目指す。

## (五) 規範的な誘導を堅持

政府部门は、政務簡素化と権限委譲をすすめ、開放と管理を結合し、サービス改革を最適化することを推進し、標準レベルの対比と評価活動を展開する。評価体制を改善し、業界自律を推進、社会監督を強化、より多くの企業が”企業標準トップランナー”に目指すことを誘導する。

## 三. 主要目標

2020年までに全ての企業製品とサービス標準が自己声明による公開を実現する。公開された企業標準の中、国家標準、業界標準の基準を上回る標準は20%以上に達する。主要消費品、装備製造、新興産業とサービス領域において、一定数の国際先進レベルに達し、市場競争力を有する”企業標準トップランナー”を作り出す。

具体的な目標:

- ・消費品領域において、1,000以上の”企業標準トップランナー”を作り上げる。
- ・工業基礎、スマート製造、グリーン製造等の装備製造重点領域、次世代情報技術、バイオサイエンス等の新興産業領域において、500以上の”企業標準トップランナー”を作り上げる。大型設備の安全、省エネルギー、環境保護、安定性、効率、寿命等の指標を大幅に向上させる。
- ・生産性と日常生活に関わるサービス提供の領域において、200以上の”企業標準トップランナー”を作り上げる。サービスの快適さ、安全性、利便性、ユーザーエクスペリエンス等の指標を大幅に向上させる。

## 四. 主要任務

### (一)企業製品とサービス標準の自己声明による公開を全面的に実施

全国統一の企業標準情報公共サービスプラットフォームを改善し、企業が本プラットフォームに施行する製品またはサービスの標準およびその標準のレベル程度、製品とサービスの機能指標と製品の性能指標を公開することを推奨する。企業に国家標準、業界標準の基準を上回る企業標準の制定を推奨する。

## (二) "企業標準トップランナー"を実施する重点領域の確定

「装備製造業標準化と品質向上計画」※1、「消費品標準と品質向上計画(2016-2020)」※2 等の国家関連計画に基づき、産業発展の状況と消費者ニーズに合わせ、年度に実施する"企業標準トップランナー"の重点領域を確定および公布する。

## (三) "企業標準トップランナー"の評価体制を確立

評価機関は業界ごとの特徴と実際の消費ニーズに合わせて、国内外の標準対比分析を実施し、"企業標準トップランナー"の核心的な指標を合理的に定め、評価方案を制定する。"企業標準トップランナー"を評価する際に、企業に費用を徴収してはならない。国家级標準化研究機関は"企業標準トップランナー"の業務を実施する作業機関(以下、作業機関)として、評価方案の公開意見募集を実施し、専門家による評価方案の評価審査を組織し、ベストな方案と評価機関を確定する。作業機関および所属の下部機関は"企業標準トップランナー"の評価作業に関わってはいけない。

## (四) 企業標準ランキングの公布

評価機関は「評価方案」に基づき、評価活動を展開。企業による自己声明にて公開の製品とサービス標準の核心的な指標に対して評価を実施し、企業標準のランキング付けをする。ランキングは社会向けに公開し、疑義がなければ公示する。ランキングに入っている企業標準は国家標準、業界標準の基準を上回らなければならない。

## (五) "企業標準トップランナー"の確定

企業標準ランキングを基に、評価機関は総合的な要素を考慮し、"企業標準トップランナー"の数を合理的に決め、ランキングの上位に入っている企業を"トップランナー"に選定する。"企業標準トップランナー"リストを事前に公開し、疑義が無ければ公示する。

## (六) "企業標準トップランナー"に関する動的調整体制の確立

評価機関は"企業標準トップランナー"の評価周期を明確にし、定期かつ動的に評価結果を調整する。告発通報制度を確立し、製品とサービスが公開の標準の指標に満たさない企業、または粉飾・欺瞞の行為を働いてランキングに食い込んだ企業に対して、評価機関は、"企業標準トップランナー"の認定を取消し、公示する。該当企業は、3年以内に企業標準ランキングと"企業標準トップランナー"の評価対象から除外する。また、関連の優遇政策を受けてはならない。

# 五. 政策措置

## (一) 激励制度を整備

標準革新貢献賞および各級政府による品質表彰、プラント価値評価等の評価活動において、"企業標準トップランナー"の評価結果を採用する。政府調達入札で、同等条件の場合、"企業標準トップランナー"に選定される製品とサービスを優先的に採用することを推奨。現有の資金調達方法を活用し、民間資本が市場化方式を用いて、"企業トップランナー"に関する特別基金(ファンド)の設立を推奨する。金融機関は"企業標準トップランナー"企業への融資を支援する。EC業者および大手小売り企業等プラットフォームを持つ企業に対して、企業標準トップランナーの評価結果の採用を推奨する。

## (二) 監督管理方式の創新

企業製品とサービス標準の自己声明公開制度は、品質監督検査、模造品摘発、欠陥リコール、製品"三包"、輸出入検査等現有の監督制度と有効的に結びつけ、"企業標準トップランナー"の評価業務の展開を保障する。

企業標準ランキングおよびトップランナーに選ばれた企業に対して、品質に対するコミットメント活動を実施させ、企業の自己規律意識を植えつけさせる。企業標準ランキングと"企業標準トップランナー"の選考過程において、消費者、媒体、業界協会、検査認証機関等の監督役割を發揮し、多方面より共同で企業標準の監督管理を行う。

## (三) 標準化サービス業を育成

企業標準のマクロ統計、分析、観測を強化し、タイムリーに政府部门および社会へ情報発信を行う。評価機関の積極性を發揮させ、企業に対して、標準情報サービスを提供し、消費者を合理的な消費へ誘導する。標準化専門機関は、標準制定、標準検証、標準適合性評価等の技術コンサルティングサービスを積極的に提供することを推奨する。

## (四) 宣伝と研修活動を強化

各種活動キャンペーンで(品質月間、科学技術週間、世界標準の日、省エネ宣伝週、環境の日)"企業標準トップランナー"制度の宣伝を行い、業界協会、標準化専門機関の役割を發揮し、本制度の宣伝と周知を徹底する。新聞媒体とネット媒体は、企業製品とサービス標準の自己声明公開制度と"企業標準トップランナー"制度の概要を宣伝し、企業標準化業務の良好な雰囲気を作り出す。専門の標準化機関は、企業標準化の研修メニューを積極的に提供し、企業のための標準化人材を育成し、各企業の標準化能力の向上に励む。

### ★纏め(筆者の見解):

企業標準ランキング、企業標準トップランナー制度の実施により、企業間の競争を促すことで、中国製品のレベルを押し上げ、産業構造の転換(高付加価値化)と消費の高度化になることが狙い。推奨と言いかながら、2020年までに全ての企業製品とサービス標準は自己声明による公開を目標に掲げられているため、中国企業のみならず、外資系企業もその対応(企業標準の公開)を求められる。

また、企業標準ランキング、企業標準トップランナーの評価について、外資企業も対象となるか否かはこの公告では言明していないが、選考の透明性の確保は懸念事項。仮に外資企業も評価対象になる場合、自社製品の企業標準を公開し、該当企業標準の核心指標を明示しなければならないため、自社ノウハウの流出は懸念される。政府購買品リストに含まれる外資系メーカーに関して、中国政府の調達に応札するのに元々ハードルは高いが、"企業標準トップランナー"制度は新たな壁となる可能性も否めない。

本公告は"企業標準トップランナー"制度実施に関する意見であり、今後、市場監督管理総局は本意見に沿って、"企業標準トップランナー"制度についての実施方案を制定、公布予定。タイムスケジュールとロードマップも合わせて公布される見込み。

#### ※1 「装備製造業標準化と品質向上計画」

国質検標連[2016] 396 号 質検総局と国家標準委と工信部、「装備製造業における標準化と品質向上に関する計画」を通知

[http://www.sac.gov.cn/xw/bzhxw/201608/t20160802\\_214546.htm](http://www.sac.gov.cn/xw/bzhxw/201608/t20160802_214546.htm)

- ・全体的目標…2020 年までに、工業基礎、スマート生産、クリーン生産など重点分野の標準体系を完備、2025 年までに、サービス産業との融合などの標準体系を整える。
- ・次世代通信技術、新エネ車(スマートコネクテッドカー標準化、PHV、EV、FCV などの標準を引き続き整備、EV 充電インフラ研究など)、農機、高性能医療機器などの 10 大重点分野に注力。

#### ※2 「消費品標準と品質向上計画(2016-2020)」

国弁発[2016] 68 号 国務院、「消費財標準および品質向上計画(2016-2020 年)」を公布

[http://www.gov.cn/zhengce/content/2016-09/12/content\\_5107628.htm](http://www.gov.cn/zhengce/content/2016-09/12/content_5107628.htm)

同計画では主に以下の目標を掲げている。

- ・消費財に適用する標準規格について国際標準との適合性 95%以上を達成

- ・消費財の抜き取り検査合格率 90%以上を達成

対象となる消費財の重点分野は以下の通り。

-家電製品

・温水洗浄便座、空気清浄機、掃除用ロボットなど

・白物家電のスマート化など

-電子機器

・クラウド、ビッグデータ、IoT などに関する標準化

・スマホ、ウェアラブル端末、AV 機器などスマートデバイスのセキュリティ強化、個人情報の保護等に関する標準化

-家具や照明器具など

-衣類品

・母子、高齢者、障害者向け製品

・化粧品や日用品

・スポーツ用品

・伝統文化関連製品

-食品

---

#### ■注意事項

本メルマガに掲載した記事、公告内容等は、株IST ソフトウェアが仮訳および編集を行ったものです。記載内容に疑義のある場合には中国語の原文に準じてください。お客様に提供した情報に関連して、万一、お客様が不利益を被る事態が生じたとしても、株ISTソフトウェアは責任を負いませんので、ご了承ください。